

登録コード	TSM17500	開講年度	2026				
授業科目	水環境工学演習					担当教員	小松 一弘
英文授業名	Seminar in Water Environment Engineering					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					水環境に関する最先端の専門知識を習得しつつ、それらを（批判的に）評価できる実践的技術力	
(2)授業の概要	水環境研究に関する雑誌論文等を輪読する。						
(3)授業計画	第1回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）ガイダンス 第2回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：和文誌特集号（例：水環境学会誌） 第3回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：和文誌特集号（例：陸水学雑誌） 第4回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：和文誌論文（例：水環境学会誌） 第5回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：和文誌論文（例：土木学会誌） 第6回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：英文誌レビュー（例：Limnology） 第7回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：英文誌レビュー（例：Water Research） 第8回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：英文誌論文（例：Limnology） 第9回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：英文誌論文（例：Water Research） 第10回（8時間分 1コマ2時間×1日4コマ）輪読：英文誌論文（例：Nature） ガイダンス時に各回の担当者を決める。担当者は以下の作業を行い、その回での輪読が円滑に進むよう手配する。 （1）自らで関連分野の論文を検索し入手する。 （2）（1）で入手した論文を読んで理解し、その内容を自分の言葉でまとめてレポートを作成する。 （3）（2）の内容を担当回時に発表し、他の受講者と議論をする。						
(4)成績評価の方法	演習への関与に係る積極性、発表内容、他者発表時の質問内容をもとに総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	点数で 90点以上：「水準からみて卓越している」とみなし、秀 80点～89点：「水準よりかなり上にある」とみなし、優 70点～79点：「水準よりやや上にある」とみなし、良 60点～69点：「水準にある」とみなし、可, 50～59点：「水準よりやや下にある」とみなし、不可（D） 49点以下：「水準にない」とみなし、不可（F）とする。						
(6)事前事後学習の内容	演習の進行に関係なく、常に雑誌論文の検索を行い興味深いものは取り上げて学習することを推奨する。						
(7)履修上の注意	水環境工学関係の基本的知識をよく復習した上で講義に臨むこと。						
(8)質問,相談への対応	質問等は授業中または授業終了後に受け付ける。その他、メールでの質問等を推奨する。来室される場合は事前にメールで連絡すること（E4棟4階411号室）						
(9)その他							
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						